

久枝地区における予約型乗合交通
「チョイソコひさえだ」の
運行計画（実証実験）について

説明資料

「チョイソコひさえだ」実証実験

第1期運行計画

(2021年1月13日～2022年3月31日)

はじめに

高齢化を主な背景に、それぞれの地域に多くの高齢者が暮らし、今後も増え続けると考えられます。この方々に対して、日々の暮らしに欠かせない「豊かな移動」を提供することは、公共交通の観点はもとより、福祉やまちづくりの観点からも非常に重要なことです。高齢者に限らず、この「豊かな移動」が、住民の方々の「豊かな暮らし」を構成する大きな要素であることは言うまでもありません。

久枝地区は、久万ノ台・問屋町・安城寺町・東長戸 1～4 丁目・西長戸町・船ヶ谷町・高木町・鴨川 3 丁目から構成される地域で、久枝地区まちづくり協議会の活動が活発です。人口はおよそ 25,000 人、うち 75 歳以上人口がおよそ 2,400 人。松山市地域公共交通網形成計画によると、人口の 52.9%が交通空白地域または交通不便地域に暮らしているとされています。

この久枝地区において、オンデマンド型乗合交通という新たな交通モードを導入することにより、2つの地域課題の解決を図ります。

1つ目は、様々な事情でお出かけしにくい地域の方への積極的な外出支援です。病院や買物に代表される外出そのものによる効果、またその目的地による地域住民同士の交流などによる効果などから、健康増進を目指します。

2つ目は、地域力の向上です。地域の中での主だった役割は、久枝地区まちづくり協議会が担います。会員募集・利用者との交流・協賛企業の募集などです。久枝地区まちづくり協議会は、地域住民で構成されています。「チョイソコひさえだ」の実装が契機となり、久枝地区まちづくり協議会の活動が活性化することは、そのまま地域力の向上に繋がります。住民同士の絆が強化されれば、副次的に、地域の見守り・防災・防犯など、交通以外にも多くの効果が期待できます。

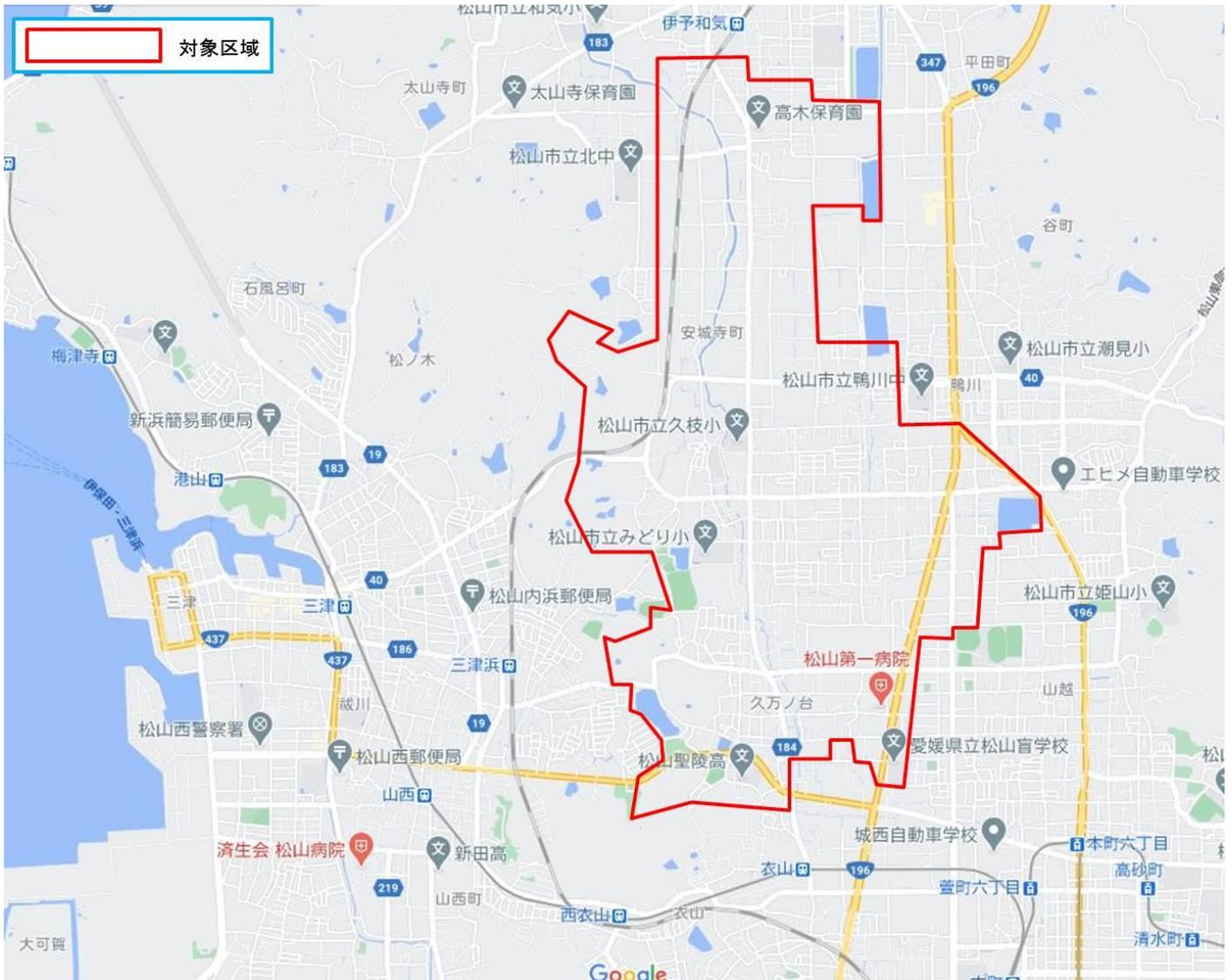
「チョイソコひさえだ」は、地域住民が地域住民のために取り組む活動です。計画も、資金も、人手も、何もかも地域で賄います。地域公共交通網形成計画にも交通空白地域や交通不便地域といった記載がある中、この解消は容易なものではありません。それは主に資金と人手の問題ではないかと考えています。これらを地域で自弁できるモデルを完成させることができれば、画期的なことであると期待しています。

1) 会員条件

「チョイソコひさえだ」は、会員制です。会員となる条件は、「久枝地区（久万ノ台・問屋町・安城寺町・東長戸1～4丁目・西長戸町・船ヶ谷町・高木町・鴨川3丁目）の住民」とします。

2) 停留所

主に久枝地区内に、「チョイソコひさえだ」の乗降ができる場所として、停留所を200～300ヶ所程度設置します。実証実験中、対象区域内の停留所の場所については各種状況により随時見直します。なお、下図赤線から数100m程度の距離にある区域外の施設について、「区域外特別乗降所」を設置したいという住民からの要望もあります。この件に関しては、実証実験を通じて既存公共交通への影響を測り、また関係者と協議をした上で、次回以降の地域交通会議の議題として提案させていただく可能性があります。



3) 対象区域

「チョイソコひさえだ」の対象区域は、上図のとおり、久枝地区まちづくり協議会の活動区域に限定します。この対象区域を拡大することは、当面考えていません。

4) 実証実験期間

「チョイソコひさえだ」の実証実験は、道路運送法第21条第2項に基づく乗合旅客運送（区域運行とし区域は久枝地区とする）とし、「2021年1月13日（水）～2022年3月31日（木）※無償実証期間は第21条適用外」と定めます。なお、4条運行への移行を含め、これ以降の運行については、地域公共交通会議で協議のうえ、次期運行計画を定めることとします。



5) 運行日および運行時間

運行日は、下記を除く平日とします。

- (1) 土曜日および日曜日
- (2) 祝日
- (3) その他天候条件や災害など安全な運行に支障がある日
- (4) 年末年始・夏季休暇など運行事業者が別に定めた日

運行時間は、交通事情などによりやむを得ない場合を除き、9:00～12:00と13:00～16:00の1日6時間とします。

6) 利用料金

利用料金は、1人につき1ヶ月3,000円か3,300円、または3ヶ月10,000円（消費税および地方消費税含む）の定額乗り放題制とし、会員は別に定める会員規則に従い、定期的にこれを納めます。料金については、無償実証実験期間中に利用者の声を集め、これを参考に遅くとも有償実証実験開始の1ヶ月前を目途に決定します。

7) 会員登録

「チョイソコひさえだ」の会員になるためには、会員登録をしなければなりません。会員登録を希望する者は、直接または久枝地区まちづくり協議会を通じてネットヨタ瀬戸内株式会社モビリティ事業部に届けていただきます。ネットヨタ瀬戸内株式会社モビリティ事業部は、会員登録申込書を受理した場合は、速やかに申込書の内容を審査し、会員条件を満たしている場合には、直接または久枝地区まちづくり協議会を通じて「チョイソコひさえだ会員証」を交付します。会員は、この会員証が届き次第、利用できるものとします。

8) 予約のルール

利用者が「チョイソコひさえだ」を利用する場合、電話による予約が必要です。予約時には、乗降場所・希望時間などを伺います。電話以外による予約は受け付けず、また予約内容以外の乗降はできません。予約は、ネットヨタ瀬戸内株式会社モビリティ事業部（第3種旅行業者）で受け付けます。予約は、当初は2週間前から30分前までとし、予約受付時間は平日8:30から15:30までとします。

9) 車両

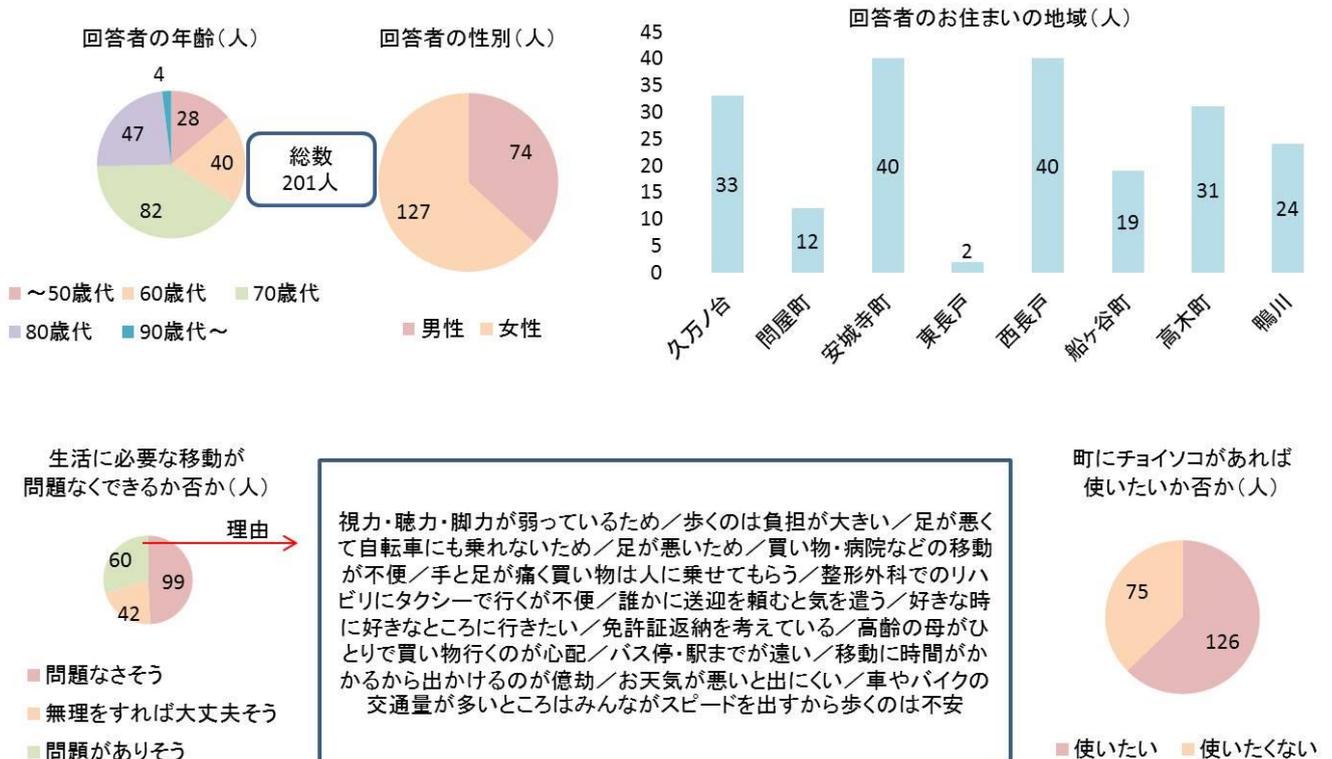
1台目の運行事業者は、東洋タクシー株式会社とし、同社所有の車両（7人乗りノアウェルジョイン）を使用します。実証実験中あるいはその終了後、住民からの要望により2台目以降の車両を実装する場合、東洋タクシーまたは久枝地区内およびその近隣のタクシー会社を運行事業者とし、車両については同様に当該運行事業者所有の車両を使用するものとします。

10) 資金計画

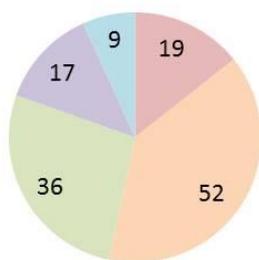
「チョイソコひさえだ」はプロジェクト内で収支を合わせることから、税金の投入を必要としません。事業費は全体として月額 850,000 円と試算していますが、利用者からの月会費で 600,000 円（200 人程度）、協賛企業からの月会費で 250,000 円の収入を見込んでおり、現在までの久枝地区まちづくり協議会の活動からすると十分に達成可能であると考えています。なお、これまでのイニシャルコストは、一般社団法人トヨタ・モビリティ基金からの助成金を充てています。

11) 住民の声（参考）

参考に、久枝地区まちづくり協議会の活動の一環として取り組んだアンケート結果を載せています。これらの結果から、久枝地区にはすでに困っている方が多くいることがわかります。また、その分布については地域差があるようです。「生活に必要な移動が問題なくできるか否か」の問いに対しておよそ半数の方が「無理をすれば大丈夫そう」「問題がありそう」と回答していることから、松山市地域公共交通網形成計画にある「人口の 52.9% が交通空白地域または交通不便地域に暮らしている」と合致します。また、料金に関する回答からは、月額 3,000 円以上でも利用したい方はある程度いらっしゃる事がわかります。75 歳以上の人口がおよそ 2,400 人である久枝地区であれば、1 台の維持に必要な 200 人の会員は十分に集まると考えています。なお、今回のアンケートは、無作為ではなく特に困っていそうな年齢層の方を中心にとった点には注意が必要です。

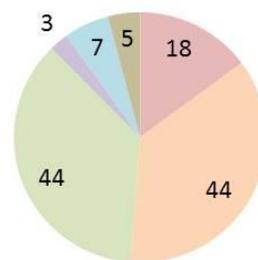


片道運賃がいくらであれば使いたい人(人)



- ~100円
- 101円~200円
- 201円~300円
- 301円~500円
- 501円~2,500円

月額定額乗り放題の場合いくらであれば使いたい人(人)

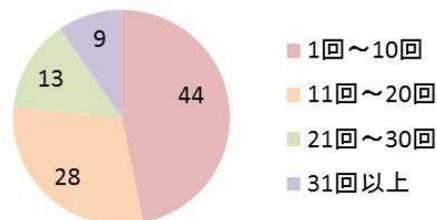


- ~1,000円
- 1,001円~2,000円
- 2,001円~3,000円
- 3,001円~4,000円
- 4,001円~5,000円
- 5,001円~

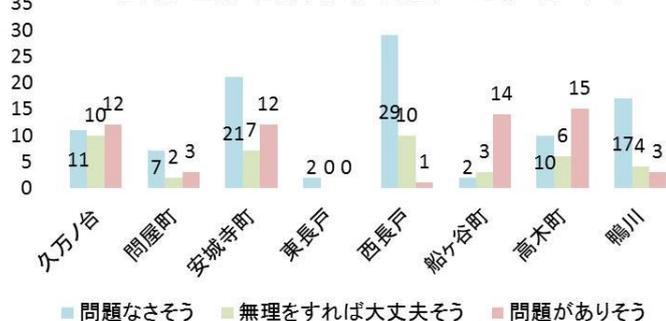
参考 主なチョイソコで行きたい場所(月間/往復)

場所	行きたい人	行きたい回数(のべ)
買い物	18人	188回
病院	15人	57回
駅	4人	7回
サロン	1人	4回
コミセン	1人	2回

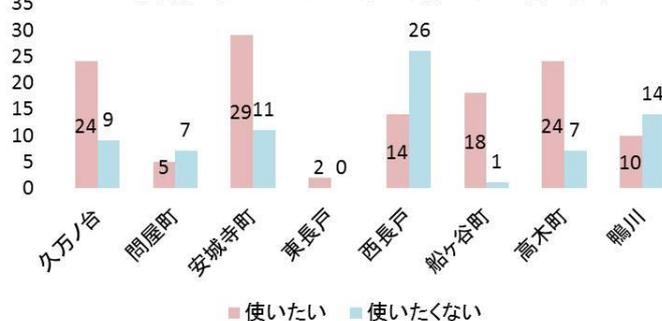
チョイソコを使って月に何回出かけたか(乗り放題片道)人



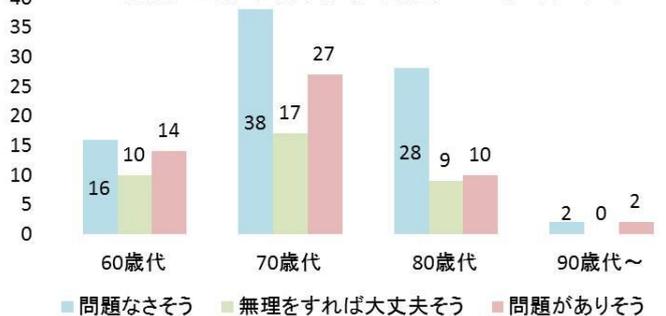
地域別 生活に必要な移動が問題なくできるか否か(人)



地域別 町にチョイソコがあれば使いたい人(人)



年齢別 生活に必要な移動が問題なくできるか否か(人)



年齢別 町にチョイソコがあれば使いたい人(人)

